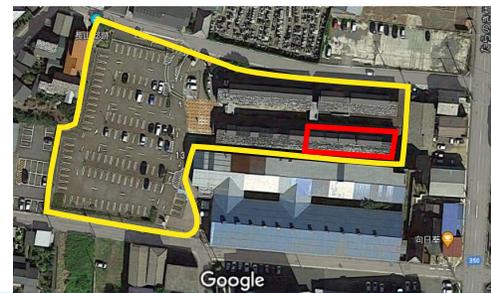


## 市内唯一の映画館

- 鶴岡まちなかキネマは昭和初期の絹織物工場を映画館にリノベーションし平成22年5月に開業
- メジャー作品等の映画上映に加え映画祭、地域密着型の企画運営等で最大8万人/年が来館
- 令和2年5月閉館。運営会社は私的整理を開始

## 再生に向けて

- 鶴岡市社会福祉協議会は事務所機能移転先としてまちなかを取得（右図黄色線部）し、地域貢献として映画機能の一部維持（同赤線部）に関わる支援を市に相談
- 山王まちづくり(株)は山王商店街の魅力として、まちなか再生に関わり商店街振興を図りたいと市に相談



## 市が事務局となり映画機能（シネマ3・4区域）利活用を検討する「映画機能付交流スペース利活用検討会」を設置

- 映画機能付交流スペースの映画機能を発揮した多様な交流と持続的運営に向けた利活用アイデアを結集することを目的
- 同志社大太下義之教授（座長）、まちなかの存続と再生を願う会、鶴岡市社会福祉協議会、荘内銀行、鶴岡信金、山王まちづくり(株)、鶴岡山王商店街振興組合、市関係課（地域包括ケア推進室、商工課、都市計画課、社会教育課、政策企画課）で構成
- 改修計画、運営方針、映画機能と付加機能との相乗効果、市民からの応援・共感、新しい映画館としての将来の方向性や課題について意見を交わした。

### 改修計画

- ✓ シネマ1・2区域に事務所機能、エントランスホールを介護予防室に改修
- ✓ エントランスホール利用、映画機能付交流スペースへのアクセスについて配慮

### 運営方針

- ✓ 「映画文化の振興」と「映画機能を活かした地域との多様な交流の創出」を方針に、収益をあげつつ地域活性化に資する新しい映画館として運営
- ✓ 多様な収益源の確保と経営計画の検討が必要

### 映画機能と付加機能との相乗効果

- ✓ 福祉的機能、教育的機能、地域活性機能の3つの側面から機能連携を図る。
- ✓ 一過性のイベントではなく、継続的に人が集まる仕掛けを構築
- ✓ 関係機関が連携し運営協議会を設立し、映画機能を活用した政策間連携を進める

### 市民からの応援・共感

- ✓ 2スクリーンでの映画上映に加え、福祉・教育・商店街活性化など多様な交流が生まれる施設として再生
- ✓ クラウドファンディングやサポーター組織など市民と運営主体とで良好な関係を構築

### 鶴岡市社会福祉協議会の役割 まちなかの再整備

本部事務局をまちなかに統合。市と協調し4スクリーンのうち2スクリーンを残し運営主体に貸し付ける。運営主体と来館者の利便性を考慮する 等

### 山王まちづくり(株)の役割 映画機能付交流スペース運営

良質な映画上映と映画機能を核とする地域コミュニティの場を創出し地域活性化を推進。多様な収益源を確保し運営基盤を構築し持続的運営を図る 等

### 鶴岡市の役割 市等関係機関の連携

関係機関との調整を図り、福祉・教育分野等と連携、地域活性化事業での利活用推進。映画機能付交流スペース改修支援と運営スタートアップを支援 等

## 当面の予定

- 各機関での議決後、3者協定を締結
- 試験上映など映画機能付交流スペースの試用に向けたクラウドファンディングに着手